

北陸自動車道
R 6 長岡管内標識設計

特記仕様書

令和6年4月

東日本高速道路株式会社
新潟支社 長岡管理事務所

第1章 総則

1-1 履行内容

1-1-1 調査等名 北陸自動車道 R6長岡管内標識設計

1-1-2 路線名 (1) 北陸自動車道
(2) 関越自動車道 新潟線

1-1-3 履行箇所 (1) 自) 新潟県上越市柿崎区柿崎 (373.8KP)
至) 新潟県燕市佐渡 (447.5KP)
(2) 自) 新潟県長岡市西川口 (221.0KP)
至) 新潟県長岡市上除町 (246.2KP)

1-1-4 主な履行内容

項目	数量	備考
現地踏査	1式	
S I C標識基本設計		
設計計画	1式	
型式等の選定・照査	1式	
平面図作成	1式	
数量表作成	1式	
道の駅一時退出案内標識基本設計		
型式等の選定・照査	1式	
平面図作成	1式	
数量表作成	1式	
詳細図作成		
標識図面作成A	1枚	
設計協議説明用図面作成A	18枚	
設計打合せ	1式	

1-2 履行期間

履行期間は、契約保証取得の日の翌日から360日間とする。

1-3 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）は、令和5年7月版とする。

1-4 用語の定義

共通仕様書1-2「用語の定義」に下記を追加する。

(30) 「出来高」とは、契約書32条の規定に基づき確認された業務の請負代金額をいう。

1-5 年度出来高予定額

1-5-1 年度出来高予定額

受注者は、各年度の出来高予定額を計画し、年度出来高計画書（様式第1号）を発注者に提出するものとする。

1-5-2 年度出来高予定額の変更

受注者は、調査等請負契約の変更が行われた場合、年度出来高修正計画書（様式第1-1号）を発注者に提出するものとする。

1-6 資料の貸与

共通仕様書5-2-3「資料の貸与」に下表を追加する。

貸与資料	調査等業務名／工事名	貸与予定日	備考
管内平面図、横断図、縦断図	—	契約締結後貸与	電子データ
施設管理用図面	—	契約締結後貸与	電子データ
標識台帳	—	契約締結後貸与	電子データ
スマートIC詳細設計成果品	—	契約締結後貸与	電子データ

1-7 受注者相互の協力

共通仕様書1-20「受注者相互の協力」に示す、隣接又は関連の工事等については、下表のとおりである。なお、履行期間中に関連工事等が増加した場合は、監督員の指示によるものとする。

工事名等	履行期間	受注者	発注機関	備考
北陸自動車道 R5長岡管内舗装補修工事	未定	未定	当社	成果品使用のため

1-8 部分使用

共通仕様書1-35の規定に基づき部分使用を請求する内容及び使用時期は下表のとおりとする。

内容	使用開始時期	使用理由
道の駅一時退出案内標識基本設計に係る部分	2024年11月1日	関係機関との協議にて使用するため。

1-9 計画工程表

1-9-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書1-14-1（2）に示す作業計画書中の計画工程表の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書1-4に示す資料の貸与時期、本特記仕様書1-6に示す協議の実施予定時期、共通仕様書1-9-3に基づく照査の実施時期及び共通仕様書1-22に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	項 目	備考
現地踏査	—	
S I C標識基本設計	設計計画	
	型式等の選定・照査	
	平面図作成	
	数量表作成	
道の駅一時退出案内標識基本設計	型式等の選定・照査	
	平面図作成	
	数量表作成	
詳細図作成	標識図面作成A	
	設計協議説明用図面作成A	
設計打合せ	—	

1－9－2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1－2 2 に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、調査等打合簿（共通仕様書 様式第 1－4 号）に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1－1 4－3 に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1－1 0 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者は、共通仕様書 1－2 2 「打合せ」にあたっては、打合せ前に打合せ項目を整理すると共に、打合せ終了後、速やかに調査等打合簿を作成し、監督員に記載事項についての確認を得るものとする。

また、清書・押印した調査等打合簿は、打合せ後 7 日以内に監督員に提出するものとする。監督員は、提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内に受注者に返送するものとする。

1－1 1 工事記録情報の作成及び提出について

受注者は共通仕様書 1－4 3－1 の規定に従って、「工事記録収集システム」へデータ入力を行うものとする。また、業務完了までに「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」を完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。工事記録収集システムに関する問合せ先は、当社が協定締結した「保全点検業務等の実施に関する協定」に規定する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、設計図書及び監督員の指示に従い、大積PAに接続するスマートインターチェンジ（以下S I C）の開通に伴い設置する本線及び休憩施設内の案内標識、及び道の駅ながおか花火館への一時退出を案内する標識の配置計画を行い、平面図作成及び概算数量の算出を行うものとする。

なお、設計にあたっては、共通仕様書5-9「標識設計」を適用するものとする。

2-2 S I C標識基本設計

2-2-1 設計計画

設計計画は、当該設計に必要な資料の収集、整理を行い、地域状況及び交通流状況を完全に把握して、地形図上で配置計画を立案するものとする。設計計画の検測数量は、連絡等施設（S I C）上下あたり1箇所とする。

2-2-2 型式等の選定・照査

型式等の選定・照査は、前項の配置計画に基づき、標識柱を新設する場合には現地状況に即応した標識柱形式・表示等の選定、既設標識に添架する場合には既設標識柱の型式へ添架に伴う構造照査並びに表示等の選定をそれぞれ行うものとする。

また、既設標識柱への添架により標識板面積が大幅に増加し、構造照査の結果、標識柱の補強や新設標識柱の検討が必要となった場合に追加設計に要する費用については、別途監督員と協議を行うものとする。

型式等の選定・照査の検測数量は、連絡等施設（S I C）上下あたり1箇所とする。

2-2-3 平面図作成

平面図作成は、前項の配置計画・型式選定・照査結果に基づき、平面図を作成するものとする。なお、平面図の作成にあたっては共通仕様書の規定によらず、本線、PA施設内、ランプ部をそれぞれ上下個別に縮尺1:2,000の平面図を作成するものとする。平面図作成の検測数量は、連絡等施設（S I C）上下あたり1箇所とする。

2-2-4 数量表作成

数量表作成は工事の施工・積算に必要な項目の数量を数量算出要領に基づき算出し、取りまとめて数量表を作成するものとする。数量表作成の検測数量は、連絡等施設（S I C）上下あたり1箇所とする。

2-3 道の駅一時退出案内標識基本設計

2-3-1 型式等の選定・照査

型式等の選定・照査は、監督員が提示する標識レイアウト及び配置計画に基づき、標識柱を新設する場合には現地状況に即応した標識柱形式・表示等の選定、既設標識に添架する場合には既設標識柱の型式へ添架に伴う構造照査並びに表示等の選定をそれぞれ行うものとする。

また、構造照査の結果、標識柱の補強や新設標識柱の検討が必要となった場合に追加設計に要する費用については、別途監督員と協議を行うものとする。

型式等の選定・照査の検測数量は、施設（道の駅）1箇所とする。

標識板寸法、枚数の計画は下表に示すとおりである。

なお、各標識枚数、寸法等の計画に著しく大きな変更が生じた場合、それに要する費用については、監督員と別途協議とする。

設置箇所	標識概略寸法（縦×横）	枚数	備考
本線	1550×6000	2	新設
	1550×5000	2	新設
	1600×2150 420×2150	4	新設
	2000×900	4	新設
	1800×700	2	添架
道の駅構内	900×600	5	うち新設1枚、添架4枚
	1000×1200	1	添架1枚
	350×700	1	添架1枚

2-3-2 平面図作成

平面図作成は、前項の監督員の提示する配置計画及び型式選定・照査に基づき、平面図を作成するものとする。

平面図作成の検測数量は、施設（道の駅）1箇所とする。

2-3-3 数量表作成

数量表作成は工事の施工・積算に必要な項目の数量を数量算出要領に基づき算出し、取りまとめで数量表を作成するものとする。

数量表作成の検測数量は、施設（道の駅）1箇所とする。

2-4 詳細図作成

詳細図作成は、下表に示すとおり行うものとする。

区分	図面種別	枚数	作成 難易度	簡易な 応力計算	備考
標識図面作成A	標識図面	1	複雑	有	既設標識に追加で添架するもののうち、大幅な標識面積増による構造照査を伴うもの。
設計協議説明用 図面作成A	検討図面	18	普通	無	標識レイアウト作成を行うもの。

2-5 設計打合せ

設計打合せは、下記のとおり行うものとする。

- （１）業務着手時及び業務完了時には管理技術者が立ち会うこと。
- （２）打合せ場所は、東日本高速道路株式会社新潟支社長岡管理事務所で行うものとする。ただし、打合せ方法及び場所等の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。
- （３）打合せ回数は、部分使用検査、業務内容確認及び完了検査も含め６回、日帰りとする。

打合せの検測数量は1式とする。なお、初回打合せは現地踏査に含むものとする。
各打ち合わせ内訳は下表のとおりとする。

回数	区分	打ち合わせ	備考※
1回目	初回	現地踏査	本線上については道路巡回車で受発注者合同 現地調査予定
2回目	中間	中間打合せ①	道の駅一時退出案内標識に関する検討内容
3回目		部分使用検査	
4回目		中間打合せ②	大積S I C標識に関する検討内容
5回目		業務内容確認検査	
6回目	最終	完了検査	

※打ち合わせ内容の目安を示すものであり、打合せ内容を指定するものではない。

- (4) 履行状況により打合せ回数が増減しても費用の変更は原則行わないものとする。ただし、打合せ方法の変更等により費用の変更が必要と監督員が認めた場合は、監督員と受注者との協議するものとする。

2-5 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費は、現地踏査及び設計打合せに必要な交通費・日当・宿泊費とし、打合せ回数等が増減しても、交通費・日当・宿泊費の変更は原則行わないものとする。ただし、打合せ方法の変更等により交通費・日当・宿泊費の変更が必要と監督員が認めた場合は、監督員と受注者との協議するものとする。

2-6 成果品

成果品の提出型式は下表のとおりとする。

項目	監督員	NEXCO総研	備考
報告書（紙）	1部	—	
報告書（電子データ）	1部	1部	
図面（紙）	1部	—	
図面（電子データ）	1部	1部	報告書（電子データ）と合わせて提出

第3章 補足事項

3-1 設計図書の変更及び追加について

下記に示す事項については、現在関係機関と協議中であり、新たに設計を追加する可能性があるもので、受注者は監督員と綿密な連絡を取るとともに、これについて監督員の指示があった場合には、速やかにその指示に従うものとし、これに要する費用は監督員と受注者で協議し定めるものとする。

- (1) S I Cの接続する休憩施設の名称変更に伴う既設案内標識の変更並びに標識柱の型式検討・照査業務等を追加する場合がある。
- (2) 型式検討の結果に基づき落下防止ワイヤーの検討を追加する場合がある。

様式第 1 号

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社（事務所）

支社長（所長） 殿

住所

会社名

代表者

年度出来高計画書

（調査等名）

標記調査等の年度出来高計画書を下記のとおり作成しましたので、提出いたします。

記

年度出来高予定額

年度区分	年度出来高予定額	累計出来高予定額
令和 年度		
令和 年度		
計		

以 上

様式第 1 - 1 号

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社（事務所）
支社長（所長） 殿

住所
会社名
代表者

年度出来高修正計画書

(調査等名)

標記調査等の年度出来高修正計画書を下記のとおり作成しましたので、提出いたします。

記

年度出来高予定額

年度区分	修正前出来高予定額	前年度出来高に基づき 修正された出来高予定額
令和 年度		
令和 年度		
計		

以 上